

# チャレンジ通信

## 埼玉県議会自由民主党議員団

# なかやしき慎一

## 卯月に思う

四月も半ばを過ぎて、昨日は、新しい市議の顔ぶれも出そろい12年に一度の亥年の選挙イヤーも前半戦が終了しました。己が思いを表し伝え、理解と共感を得られた者のみに許される新しい任期、私自身も結果無投票当選だったとはいえ、四年に一度のこの時期に、改めて「私心を捨てて公に尽くす」を心に誓い直すと共に、力を携えてくださった皆さんのご期待にさらにお応えしなければと決意を新たにしたいところです。

団地整備事業を確実に成功させ、税収と地元雇用を確保できるような企業誘致を成し遂げるべく、原口市政と県行政の連携を更に深められるように努め、合併特例債終了後の本市の課題でもある「財政基盤の確立」に必要な、「流入人口の増大」にも寄与するであろう「稼ぐ鴻巣」の新しい形、新たな展開を構築して行けるよう努力して参ります。



討議資料



発行者  
埼玉県議会議員 中屋敷 慎一  
〒365-0039鴻巣市東3-11-18-103  
TEL 048-541-8110  
FAX 048-541-0256



## 県議会2月定例会 明日への投資的予算(施策)で埼玉県を元気に!!

### 【平成31年度当初予算】

### 一般会計

# 1兆8,884億6,000万円

自民県議団は昨年秋、県民の生活安定と経済の活性化に向けた政策をより積極的に推進すべきとの考えを政策大綱としてまとめ、県に提言してきました。新年度予算には、私たちの主張が一定程度反映された内容となっています。

## 振込詐欺対策の強化へ自民県議団が提案 「埼玉県特殊詐欺の被害の防止に関する条例」を採択



(通称)振り込め詐欺やオレオレ詐欺と呼ばれる特殊詐欺は、日々さまざまな手口が開発され、更なる被害の拡大が懸念されます。詐欺被害を無くすためには、県民一人一人がその防犯意識を更に高める必要があり、県民や事業者がそれぞれの立場で取り組んでいくことが重要です。

私たちは県全体が一丸となって特殊詐欺の被害に遭いにくい環境をつくることで、特殊詐欺が発生しにくい環境ができてい

くものと考えます。そこで自民議員団では、特殊詐欺に対する取り組みを推進するための核となる条例が必要であると考え、今回の提案となりました。

同条例の提案前には、広く県民の皆さまの意見を伺うためパブリックコメントの募集も実施(平成30年12月25日~平成31年1月24日)。今回の議会にて採択するのはこびとなりました。

## 魅力的で持続可能な埼玉 ~稼ぐ力の向上で経済活性化~ 地域の経済活性化と企業誘致の推進

### 拡充 農大跡地等への先端産業等の集積

43億655万円

- ◆ 農大跡地※圏央鶴ヶ島ICに隣接
  - ・土地区画整理事業(造成工事等)
  - ・環境影響事後調査 など

- ◆ 周辺地域
  - ・近未来技術(ドローン・自動運転等)実証フィールドの整備

- ◆ 鶴ヶ島JCT周辺13市町
  - ・LPWAを活用したIoT化の促進
  - ・AI技術等の利用環境整備
  - ・AI・IoT人材の育成
  - ・地域経済牽引事業者へのAI・IoT等導入支援



農大跡地 約39.2ha

※LPWA・・・Low Power Wide Area  
低消費電力で遠距離通信を実現する無線通信

※IoT・・・Internet of Things  
モノのインターネット、「身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながる」仕組み

### 新規 新たな産業団地の整備

122億3,458万円

- 旺盛な企業立地需要に応えるために早期整備
- エントリー&オーダーメイドで企業ニーズを取り込む
- 既存インフラを活用する「既存団地拡張モデル」を展開
- 地元の拡張ニーズもつかんで他県との競争に勝つ

富士見 鴻巣箕田地区 産業団地整備事業 寄居 羽生 56ha

52億円(3年継続費)

目的  
一層高まる企業立地ニーズに迅速に対応し、雇用創出や産業集積による地域経済の活性化を図るため、鴻巣市と連携して産業団地の整備を行う

31年度予算額 19億6,228万円

平成31年度	平成32年度	平成33年度
実施設計	スピーディーな産業団地整備	
環境調査		
	開発協議	
	用地買収	
		造成工事等





平成31年度当初予算

# 皆さまと県政をつなぐ架け橋として全力

## 注目すべき主な施策

### 拡充 犯罪被害者支援の強化 2,805万円

#### ◆ 性犯罪被害者支援の充実強化

専用相談電話「アイリスホットライン」を24時間365日化

#### ◆ 市町村支援の強化

市町村犯罪被害者等支援総合的対応窓口の職員研修の強化

#### ◆ 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センターの機能強化

ワンストップ支援センターに支援コーディネーターを配置、相談者のニーズに沿った支援を実施



### 新規 児童虐待防止対策の充実 5,797万円

#### ◆ 警察との連携強化

**全国初**

児童相談所と警察署間において児童虐待情報を共有



#### ◆ 市町村における相談体制の強化

児童福祉司・児童心理司などの経験者を市町村へ派遣

#### ◆ 民間との協働による泣き声通告などへの対応

児童の安全確認のうち、リスクの低い案件を協働で対応

### 一部新規 「子ども食堂」など多様な子供の居場所の拡大

164か所 → **800か所** 2,954万円

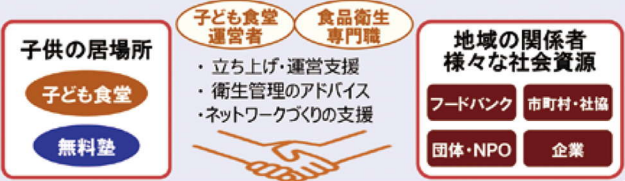
(H30.8末時点)

気づく  
始める  
支える

- 「子ども食堂フォーラム」やポータルサイト等による情報発信
- 出前講座等による担い手の発掘と活動先紹介
- 「子供の居場所づくりアドバイザー」による立ち上げ支援
- 「子ども応援ネットワーク埼玉」による社会貢献活動促進



#### 子供の居場所づくり アドバイザー



### 新規 埼玉野菜の産地強化

9,891万円

#### ◆ 農地の集約化による埼玉野菜の生産拡大

産地の核となる農業法人へ機械化一貫体系の導入支援

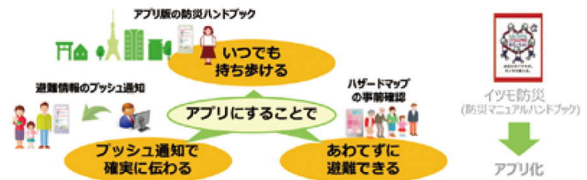
(例) ねぎの機械化一貫体系



### 新規 災害対策アプリの提供

6,013万円

#### ◆ 防災ハンドブックをスマホアプリとして提供



### 新規 シングルマザーなどひとり親家庭の支援

#### ◆ ひとり親家庭に役立つ情報を発信

「ひとり親あしんサポートカード(仮称)」を配付し、「まいたま」を通じて、情報発信

9,123万円

#### ◆ 就職スタートアッププログラム

業務体験等でシングルマザーの就職マッチングを強化

#### ◆ ひとり親世帯への住宅供給

県営住宅を4年間で700戸供給 (H31:100戸)



### 新規 高齢単身者モデル住宅の供給

1,344万円

#### ◆ 県営住宅でモデル住宅を検討

高齢者が人との交流を通じて、いきいきと暮らせるモデル住宅を検討

- ・カフェや市民農園による交流の機会づくりの試行
- ・課題整理や設計方針の検討



### 新規 猛暑に対する備え

2億1,364万円

#### ◆ 埼玉スタジアム2002公園における暑さ対策

- ・北広場を遮熱性塗料塗布
- ・ミストシャワーを設置
- ◆ 中小企業等の暑さ対策
- ・中小企業等の断熱対策等へ助成
- ・環境科学国際センターで温度変化等を検証

#### ◆ 熱中症予防対策を行う市町村を支援



### 新規・拡充 地震や水害への備え

#### ◆ 橋りょうの耐震補強の推進 29億650万円



#### ◆ 県市連携による浸水対策 6億9,000万円



### 新規 人口減少が著しい地域への移住等の支援

#### ◆ 県内9市町村への移住や起業への助成

東京圏から移住し、中小企業に就職した者等に最大100万円を支給 起業する者に創業に要する費用として最大200万円を補助

1億2,752万円 (地方創生推進交付金活用)



### 新規 マイクロプラスチックの削減

1億2,932万円

#### ◆ 先行モデル地区でのプラごみ削減活動

- ・河川で網等を使ってごみを回収
- ・ごみを分類し実態把握、結果を周知

#### ◆ 河川水中のマイクロプラ調査・発生源対策

・東京湾に流れ込む荒川など5河川10か所で調査

#### ◆ 環境対応プラスチックへの転換に取り組む県内製造業者に対する技術支援、製品開発等への補助

